

ブラジル上院は1回目投票で年金改革法案を承認

- ブラジルの上院は年金改革法案を1回目投票で承認。年金改革への賛成票は承認に必要な49票を上回る56票に。
- 上院承認の年金改革の規模は8,003億リアルへ縮小。政府は一部の譲歩を迫られるも、年金改革の根幹は維持。
- 年金改革法案の成立まで残るハードルは上院本会議での2回目投票のみ。2回目投票は10月15日までに実施へ。
- 上院での年金改革の最終承認には、議員予算枠や財源移譲を巡るボルソナロ政権と上院議員の交渉がカギを握る。

上院は8,003億リアルの年金改革法案を承認

ブラジル上院本会議は10月1日、年金改革に関する1回目投票を実施し、法案を可決しました。年金改革の基本法案の投票では、賛成票が56票と年金改革の承認に必要な49票を大きく上回りました(図1)。

上院が1回目投票で承認した年金改革の基本法案は10年間で8,767億リアル(約21.9兆円*)の財政改善効果が見込まれています。しかし、上院審議の過程で低所得層向けの年金手当に関する譲歩(-764億リアル)が承認されたことで、上院承認の最終的な年金改革の規模は8,003億リアル(約20.0兆円*)となりました(図2)。

一部の譲歩迫られるも、年金改革の根幹は維持

ボルソナロ政権の年金改革提案は当初は1兆2,365億リアルの規模を有していましたが、下院承認法案では9,335億リアル、今回の上院での1回目承認の段階では8,003億リアルまで譲歩が進められてきました。

もっとも、これまで議会審議の過程での譲歩は主に農村労働者や低所得層へ配慮したものが中心であり、「民間労働者と連邦政府公務員の年金ルールの厳格化」という年金改革の根幹部分は依然として維持されています。

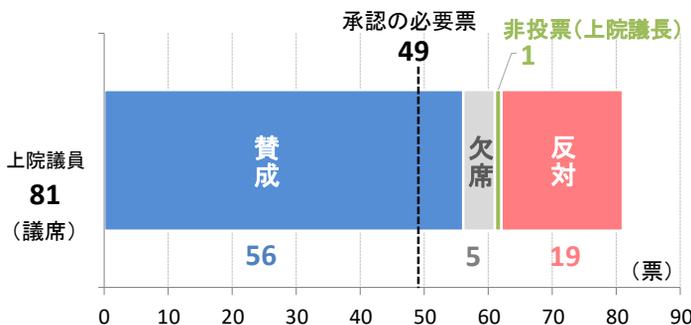
年金改革成立まで残るは上院の2回目投票のみ

憲法改正を伴う年金改革法案の成立まで、残るハードルは上院本会議での2回目の投票のみとなります。現状では上院本会議の2回目の投票は10月15日までに実施される見込みとなっています(図3)。

上院での年金改革の最終承認が確実なものとなるかは、今後のボルソナロ政権と上院議員の間での交渉がカギとなりそうです。特に上院議員から年金改革への最終合意を引き出すには、議員割当金(予算枠)の開放や地方政府への財源移譲などが焦点になるとみられています。

(*)為替換算レート:1リアル=25円

図1: 上院議会での年金改革基本法案の投票結果



(出所)ブラジル上院議会

図2: ブラジルの年金改革法案の財政改善効果

時期	年金改革案	10年間の財政改善効果(億リアル)
4月25日公表	ボルソナロ政権の年金改革提案	12,365
8月7日承認	下院本会議承認(2回目投票)の年金改革法案	9,335
10月1日承認	上院本会議承認(1回目投票)の年金改革法案	8,003
	基本法案	8,767
	修正提案(低所得層向け年金手当緩和)	-764

(出所)各種報道

図3: 今後の年金改革審議を巡る主な日程

- **10月15日まで:** 上院本会議が年金改革法案に関する2回目の投票を実施予定。全上院議員の60%以上の議員が賛成すれば法案は承認される。
- **10月中旬頃:** 年金改革法案が成立の見込み
- **11月6日:** 大規模油田入札の実施

(出所)各種報道

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。